

各部会における協議内容の報告

結婚・子育て支援部会	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
ワークライフバランス推進部会	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
若い世代部会	・・・・・・・・・・・・・・・・	5

1. 少子化対策（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）について**（1）周産期医療体制**

- ・ 県内の産科の診療所は昨年2施設減り、現在は4施設。長く続けられる見通しがあるのは1施設のみで、10年後には分娩難民が出てくる。根底に、経営面の問題や24時間対応が必要な働き方の問題があるが、公的医療機関に正常分娩をすべて任せると医療が逼迫するため、正常分娩を受け入れる施設を増やしていくことが必要。
- ・ 不妊治療は、県独自の助成をしていただきありがたいが、コストパフォーマンスの面からも（43歳未満の方も含め）効率的に資金を活用して欲しい。

（2）男性の育児休業取得

- ・ 男性の育児休業取得率が高い国ほど、出生数が多いとも言われている。男性の育休取得が増えていけば、出生数も増えていくのではないかと。
- ・ 10月から「産後パパ育休制度」が始まるが、県内の9割以上を占める中小企業では、男性の育休取得は難しいという声が聞かれる。
- ・ 特に製造業では、特殊な技術を持っており代替が効かないが、長期休業ではなく、年に数回、育児のための休暇が取れる仕組みなら取得しやすいという声もあるので、そういった方向から働きかけると効果的ではないかと。
- ・ 男性が家事や育児に積極的に関わるような普及啓発も大切。

（3）子育てしやすい環境づくり

- ・ 子育てを支援したい方は多く、子育て支援に取り組むNPOを支援することで、地域に子育てをサポートしたい方が増え、母親同士がつながるなど、子育てしやすい高知県になっていくのではないかと。

（4）女性が活躍できる職場環境

- ・ 出生率も大事だが、女性の社会減も考えていかなければならない。
都市部と地方は所得格差もあるが、ワークライフバランスの部分で、女性がモチベーションを高められるような職場づくりを考えていく必要がある。

2. 若い世代のニーズに合った出会いの機会づくりについて

- ・ 若い世代からは、「婚活」が前に出ると、参加しづらいと聞く。
- ・ 今の若い方は「結婚」「出会い」というと踏み出しにくい。ふわっとした趣味や興味別の集まりなど、軽いイベントがあれば参加しやすい。また、Uターン
の若者向けに「地元のつながりづくり」を謳うと敷居が低くなる。マッチング
や結婚相談所は最後の砦という認識。
- ・ できるだけハードルを下げ、実は出会いの場になる、という企画が良い。
- ・ 業種によっては、職場に同性が多く、出会いの機会がないという声がある。
異業種間での交流ができるようなイベントがあると良いのではないか。
- ・ よさこい祭りは男女が集まる一大イベント。また、学生ボランティアは、様々
なイベントを手伝った後に出会いの機会がある。
- ・ 高知市では30代までの青年に出会いの場を提供し、カップルなどの後押し
をすることはないというコンセプトで事業をやっており、参加者には喜ばれて
いるが、数字としての成果は出にくい。
- ・ アプリで彼女ができた中学生もあり、今の世代にとってはSNSが当たり前。
イベントには、交流目的で参加しても、どう関わればよいか分からない男性
が多く、付き合うことや結婚などのイメージの事前レクチャーなども必要。
- ・ 厳しい家庭の現実を見て結婚を希望しない人もいる。結婚に良いイメージを
持ってもらう必要がある。

3. 出会い・結婚・子育て応援広報プロモーションについて

- ・ 各団体が、ホームページ、SNS、広報誌の活用など、プロモーションの広報
や動画の拡散に協力していく。
- ・ とさのさとやアグリコレットなど店舗でのチラシ配付も協力できると思わ
れるので、個別に相談して欲しい。
- ・ 高齢者向けのイベントや施設においても、チラシ等の配布が可能。子どもや
孫世代に情報が広がる可能性がある。
- ・ ツイッターのハッシュタグを活用し、子育てのエピソードや思いを投稿し
てもらおうなど、県民参加型の企画ができるとういのではないか。

1. 少子化対策（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）について**（1）ワークライフバランス推進企業認証制度について**

- ・ 建設業には入札参加資格審査においてメリットがあるが、他の業種にはメリットが分かりづらく、全体として認証のメリットを考えていく必要がある。
- ・ 認証企業となれば、求職者の目に留まりやすいので、中小企業の経営者への見せ方として、そういった部分を強調してはどうか。

（2）子育て応援の店について

- ・ 店頭でマークを見ることもあるが、十分に知ってもらうことが必要。
- ・ 商工会連合会では傘下 24 団体にそれぞれ会員があり、裾野を広げるために団体を通じて募集の周知に協力することは可能。

2. 女性の活躍に向けた職場環境の整備について**（1）男性の育児休業取得について**

- ・ 社内で初めて男性が育休を取得したが、高知市の表彰制度に応募したところ、男性の育休取得だけでは表彰されないとのことだった。企業として PR できるような場がないか。
- ・ 技術職の男性職員が育休を取得すると代替要員の確保が難しく、社内に対応せざるを得ない状況。男女を問わず、出産や子育てを申し訳ないという思いが付きまとわなくていいような職場環境にならないか。

（2）女性のキャリアや働きやすさについて

- ・ 夏休みなどは、在宅で仕事ができれば育児との両立が可能と感じるが、企業にはまだまだ抵抗感があり、もっとテレワークを推進することで女性が働きやすい環境となるのではないか。

- ・ 女性は産休や育休でキャリアが途切れると、復帰をしても育児があり、100%で働くことができない。現在の管理職は、残業が多い人を評価するなど従来の評価基準のままであり、女性を管理職として育てようという意識が薄いのではないか。
- ・ 高知県中小企業団体中央会では、今年から製造業の女性役員に集まっていたり、取り組みを行っており、女性が少ない業種で、職場では言いにくいこともあるだけに、集まれる場がありがたいという話があった。
- ・ 経営者協会では、女性委員会において、働きやすい職場にするための取り組みを話し合っており、2～3年後には公表できるものにしていきたい。

(3) 若い世代の意識について

- ・ 今の若い世代は、仕事と家庭の両立への意識が高く、男性の家事・育児参画への抵抗が少ないと感じる。
- ・ 若い職員が多く、管理職が子育て世代という事業所は、参観日や運動会等の行事への参加が大事だと理解されており、時間単位で休暇が取得できていた。職員と管理職の間で、上手く意思疎通が図られることが大事。
- ・ 大学で講座もするが、えるぼし認定などの話は今の学生はよく知っている。女性が活躍できる職場は、男性も働きやすい職場だということにつながる。

3. 出会い・結婚・子育て応援広報プロモーションについて

- ・ 各団体が、ホームページ、SNS、広報誌の活用など、プロモーションの広報や動画の拡散に協力していく。
- ・ 高校生に対して出会い支援を広報していくにあたって、保護者の理解が得られるよう、県が行う事業であり、取組で安心・安全な出会いだということを周知していったほしい。
- ・ 県が動画配信するだけでなく、県民にも参加してもらえそうな、広がりを見せるようなやり方があるとよいのではないか。
- ・ 県庁の男性の育児休業取得率は高く、取り組みの中身をどんどん発信していくとよいのではないか。

【若い世代部会報告】

若い世代の結婚や子育てに対するハードル、不安感を解消することを目的に、結婚や子育てのエピソードなどをまとめた事例集を動画で発信するとともに、若い世代の交流の機会づくりとなるイベントを開催する。

1. 事例集の作成

【ねらい】

- (1) 当事者の体験談などから結婚や子育てを身近に感じてもらうことで、結婚・子育てに対する心理的ハードルを下げる
- (2) 県や市町村等による支援策の認知度を向上する

【内容】

- ・ 出会いから子育てまで異なるテーマを設定した 10 本の動画を制作
- ・ 部会員 10 名が、それぞれ 1 本の動画を担当し、動画の構成やインタビューなどを担う
- ・ オープニングは部会員全員でキャッチコピーを宣言
キャッチコピー：「やっぱり人が好き！高知で家族に」
- ・ 動画のテーマに応じた県・市町村等の支援策を紹介し、PRにつなげる

	分野	現時点でのテーマ案
1	出会い・結婚	色々な出会いからの結婚エピソード
2	出会い	マッチングシステムを体験してみた
3		婚活サポーターに聞いてみた
4	結婚	あなたにとって「結婚」とは？（様々な結婚観をインタビュー）
5	出産 子育て	産後ケアについて
6	子育て	子育てで世代のグルーptーク（育児サークルで子育ての楽しさを取材）
7		家族っていいなー。一緒に楽しもう！！そしてもっと自分も親として成長
8		子育てから少し手が離れて、これからの自分の人生を楽しむ夫婦
9		ちょっと失敗しちゃったー。（笑える微笑ましいエピソードを取材）
10	仕事と育児 両立	私らしい働き方（様々な支援を活用しフルタイムで仕事と育児を両立する方を取材）

- ◆ 9月より撮影を開始し、10月から順次、情報を発信していく予定
- ◆ 部会の各構成団体のHPやSNS等を通じて幅広く発信するとともに、県のプロモーション動画掲載サイトとも相互リンクし、拡散を図る

2. イベントの開催

【ねらい】

- (1) 若い世代の出会い・交流の場をつくる
- (2) 未婚の世代に加え、結婚・子育ての当事者世代とも交流を持つことで、将来の結婚や子育てにイメージを持てるきっかけとする

【内容】

- ・ 体育館において、運動が苦手な人でも楽しめる運動会を開催後、BBQパーティで交流を深める
- ・ 高知県法人会連合会（こうち出会いサポートセンター）との共催により、異業種交流イベントとして開催

○日時：令和4年11月12日（土）14時～20時

○場所：高知県立県民体育館、高知大丸「バーベキューパラダイス」

○現時点での競技（案）

様々な提案があり、今後、詳細を詰めていく

- ・ ソフトバレー
- ・ 2人3脚や4人5脚
- ・ クイズ
- ・ 綱引き
- ・ リレー
- ・ ダンシング玉入れ
- ・ 宝探しゲーム

◆ 9月に案内チラシを作成し、10月から参加者の募集を開始